

## 第60回えいが部「レザボア・ドッグス」(1993年)

ロサンゼルスを拠点とする裏社会の大物ジョーは宝石強盗を計画し、息子エディと共に6名の実行メンバーを集める。互いの素性を隠すためにコードネームで呼び合い、いよいよ強盗計画が実行される。現場から逃走したメンバーが集合場所の倉庫に集まり始めるが、計画通りに運ばなかった事態の中で、情報が警察側に漏れていた疑いが生じる。彼らは互いに不信の念を抱き、拳銃を突き付け合う。

監督・脚本：監督：クエンティン・タランティーノ

- ・1992年：レザボア・ドッグス Reservoir Dogs
- ・1994年：パルプ・フィクション Pulp Fiction
- ・1997年：ジャッキー・ブラウン Jackie Brown
- ・2003年：キル・ビル Vol.1 Kill Bill: Vol. 1
- ・2004年：キル・ビル Vol.2 Kill Bill: Vol. 2
- ・2007年：デス・プルーフ in グラインドハウス Death Proof
- ・2009年：イングルリアス・バスターズ Inglorious Bastards
- ・2012年：ジャンゴ 繋がれざる者 Django Unchained
- ・2015年：ヘイトフル・エイト The Hateful Eight

出演 ハーヴェイ・カイテル(ミスター・ホワイト)

- ・1976 タクシードライバー Taxi Driver スポーツ・マシュー
- ・1978 デュエリスト決闘者 The Duellists フェロー
- ・1984 恋におちて Falling in Love エド・ラスキー
- ・1990 黄昏のチャイナタウン The Two Jakes ジェイク・バーマン
- ・1991 テルマ&ルイズ Thelma & Louise ハル・スローコム警部
- ・1993 ピアノ・レッスン The Piano オーストラリア映画協会賞主演男優賞 受賞
- ・1995 スモーク Smoke オーギー・レン
- ・2002 レッド・ドラゴン Red Dragon ジャック・クロフォード
- ・2021 ギャング・オブ・アメリカ Lansky マイヤー・ランスキー

ティム・ロス(ミスター・オレンジ)

- ・1990 ローゼン克蘭ツとギルデンスターンは死んだ ギルデンスターン
- ・1994 パルプ・フィクション Pulp Fiction パンプキン
- ・1998 海の上のピアニスト La Leggenda del pianista sull'oceano 1900
- ・2007 コッポラの胡蝶の夢 Youth Without Youth ドミニク
- ・2019 ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ハリウッド 出演シーンカット

マイケル・マドセン(ミスター・ブロンド)

- ・1983 ウォー・ゲーム WarGames スティーヴ
- ・1984 ナチュラル The Natural バンプ・ベイリー
- ・1991 ドアーズ The Doors トム・ベイカー  
テルマ&ルイズ Thelma & Louise ジミー
- ・2002 007 ダイ・アナザー・デイ Die Another Day ダミアン・ファルコ
- ・2003 キル・ビル Kill Bill バド
- ・2019 ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ハリウッド ハケット保安官

スティーヴ・ブシェミ(ミスター・ピンク)

- ・1989 ニューヨーク・ストーリー New York Stories グレゴリー・スターク  
ミステリー・トレイン Mystery Train 床屋のチャーリー
- ・1990 キング・オブ・ニューヨーク King of New York テスト・チューブ  
ミラーズ・クロッシング Miller's Crossing ミンク
- ・1991 バートン・フィンク Barton Fink チェット
- ・1994 未来は今 The Hudsucker Proxy バーマン  
パルプ・フィクション
- ・1996 ファーゴ Fargo カール
- ・1997 コン・エアー Con Air ガーランド・グリーン
- ・1998 ビッグ・リボウスキ The Big Lebowski ドニー

<エピソード>

『トゥルー・ロマンス』の脚本を3万ドルで売り、その資金でこの映画を16mmで取ろうとした。3週間で書き上げたこの脚本をハーバーカイトルが気に入り、プロデューサーも名乗り出て160万ドルの予算で、製作がはじまった。

サンダンス映画祭のワークショップでタランティーノを手助けしたテリー・ギリアムに対しエンド・クレジットで感謝が捧げられている。

スペインのシッチェス・カタロニア国際ファンタスティック映画祭での上映で、『エルム街の悪夢』などのホラー映画の巨匠ウェス・クレイヴン監督が退席していた事実を激白。「『鮮血の美学』を作った彼でさえ、耐えがたいシーンだったんだ」とコメントした。